

取り扱いのご説明

このたびは「ぴゅあ mini」をお買い求めいただきありがとうございます。

本機の説明を読み機能を熟知していただき十分な機能を発揮し末永くご利用いただけますようよろしくお願いいたします。

ピュア mini 調整の箇所

調整する箇所はフロート装置の吸い込み口高さ

キャップのネジ高さの 2 ケ所だけです。

- ・据え置きタイプですのでタンク上のスペースの工作機機械上に置きます。

(100×130mm)

- ・機械側サービスホールなどの蓋を一旦はずしてこの穴を利用します。

この時、チューブの曲がり、つぶれに気を付け長い部分はハサミで切ります

- ・フロート装置の上側と下側にナットが 1 ケずつあり、これを緩めて吸い込み口高

さを変えます。

- ・本体メクラキャップを一旦左側に回して外します。
- ・本機側横に液の排出ホースと油の吐き出しホース(径は同じですが液の排出ホース

側が長い)を取り付けバンドで抜けないようにしっかりバンドで締め付けます。

- ・排出側ホース先端を持ち上げて、本機へ先ほど外したメクラキャップ穴からクー

ラント液をおよそ呼び水として 1L 入れます。

油の吐出しホース側に 2 リットル位のペットボトルまたはバケツを用意します。

- ・フロート装置と本体を付属のホースで接続しバンドで締め付けます。

ホースのネジレに注してください。

- ・電源コードを 100V コンセントに接続します。スイッチを ON にします。

- ・まず、フロート吸い込み口が液面より 3~5mm 低い位置にあるようにフロート高さを調節します。吸い込み口高さは 5~8mm の丸い空気穴が真ん中にできるようナットを緩めて高さを調節し、ナットを軽く締めておきます。

§ スイッチを入れてもフロート穴から吸い込みがない場合、スイッチの入、切を数回繰り返してください。

- ・先程外したキャップを取付け 2~3 回転ねじ込み、5 分くらい様子を見ます

フロート装置から吸い込まれた液は、この状態では油排出口(高い方のホース)から液が出てはいけません。もし、液が出るようであればキャップを左へ 1~2 回転回して様子を見ます。まだ、液が出るようであればフロート装置の吸い込み口高さが低すぎますのでナットを数回回して吸い込み口をさらに高くします。

- ・フロート装置から吸い込まれた油がおよそ 0.5 リットル~1 リットル位になればキャップを右側へゆっくり回していきますと油排出口から油だけが出てきます。
- ・この時、出てきた油を透明なビーカーなどガラス製の器に取り、水がないことを確

認めます。

もし、水が混入するようであればキャップを 1/2 回転左側へ回して様子を見ます。

調整の勘所

フロート装置からのホースのネジレに注意し、フロートが傾かず均一に浮かんでいること、5~8mm の丸い空気穴ができること、キャップの調整はゆっくり回すことです。油が無くなれば液だけが循環をしますがこの時は内部で油が濃縮されるのを待っています。油が濃縮され一定量溜まると分離槽内部では空気が油面を持ち上げ油を押し出しします。

・タンクの液面にゴミ、切粉、虫などが浮いている場合、最初は必ず金網などですくい取ってください。少量の場合はフィルターをオプションでご用意しています。

外部タイマーを使用する場合タイムスイッチの取扱説明書をお読みください

使用しない時は「手動スイッチ」を「入」にしてください。

ご注意

ポンプがゴミなど固いものを吸引した時ポンプがロックして止まる場合があります。

スイッチを ON-OFF を繰り返してもポンプが動作しない場合、ヒューズが切れている可能性が有ります。スイッチの下にあるヒューズ BOX を左に回してヒューズを外し、新しいヒューズと取り換えてください。この場合代わりのヒューズをご請求ください
→無料です。

電源について

本機は AC100V のコードが標準で付いています。

コンセント用プラグを切り離し AC220V でも直接使用できます。

また、内部のスイッチング電源をはずして DC24V 端子に電源を接続すれば DC24V でも使用することができます。

万一、ご使用中におきましてお気づきになったこと、何か不具合が有りましたら下記までメールをいただきたくよろしく申し上げます。

info@japan-separater.com